

申9号 2018年度年末手当に関する申し入れ 第2回交渉行っ!

若手の生の声を青年部も訴えてきました!

【運輸職場】

- ◆毎回訴えているが、休日出勤が蔓延している現状は変わっていない。「お互い様の精神」で担っている現実に、安全上問題だという声が出ており、若手が危惧している現状である。誰かが年休を取るためには休日出勤をしなければならない。
- ◆異常時では、食事時間や睡眠時間が削られたとしても、若手は安全安定輸送に尽力している。具体的には、人身事故の際に6時間乗り続け、交代がいなくて継続乗務した現実もある。穴を空けないように努力している。
- ◆鉄道の移管に伴う出向や、その要員を埋めるために職場を異動し、新たな場所で苦勞しながら担っているのは組合員だ。

【営業職場】

- ◆増収活動やMV購入率アップのためにMV案内など多くの業務を担っている。
- ◆収益確保のために努めている。

【検修職場】

- ◆限られた要員や設備条件の中で車両検査をやりきり、特にコンプライアンス上の問題が出ないように対処し、輸送商品である車両を確保してきた。
- ◆今年は大雨や台風が多く、寝る間も惜しんで業務してきた。

【工務職場】

- ◆「保線部門におけるメンテナンス体制の最適化」施策が初年度を迎えた。モニタリングシステムが導入されたが、落雷による故障をはじめ、数件の故障が発生している。また検測はできるけれどもシステムに反映されていない事象も発生している。
- ◆モニタリングが始まったことにより現場に出る回数は減った。モニタリングの管理等は机上で行っているが、そのメインは若手だ。
- ◆閑散線区のある職場では、職場再編によって出向や転勤が発生している。

青年部員が働きがいを感じ、モチベーションを上げるためにも 年末手当の満額回答を強く要請する!